

会津若松市都市計画マスタープラン（全体構想）策定支援業務委託
プロポーザル企画提案評価基準

1 評価の考え方

提案書の評価にあたっては、「会津若松市都市計画マスタープラン（全体構想）策定支援業務委託要求水準書」「会津若松市都市計画マスタープラン（全体構想）策定支援業務委託プロポーザル募集要項」等の関係書類を基に、本業務に対する企画提案等について、提案書及びプレゼンテーション並びにヒアリング等における聴き取りにおいて評価する。

2 評価基準

評価は①技術資料及び②企画提案の合計150点を満点とし、評価基準は別表「評価基準」のとおりとする。

3 評価点数

①技術資料（50点満点）

評価の際には、各項目の評価基準を参考とし、評価項目ごとに3段階で評価を行う。

評価点は、各項目の配点×評価係数とし、評価係数はA=1.0、B=0.6、C=0.2とする。なお、該当する評価係数がない場合は0点とする。

なお、提示見積額の評価点については、次の式により算出された数の小数点以下を切り捨てた点数値とし、最低点を0点とする。式：配点×（1-見積額/委託料限度額）

見積額は、別紙様式4見積明細書における業務委託料（業務価格+消費税）とする。

②企画提案（100点満点）

評価の際には、各項目の評価基準を参考とし、評価項目ごとに5段階で評価を行う。

評価の際には「普通」を基準として、それよりもどの程度優れているか、劣っているかを判断するものとする。

評価にはそれぞれ対応する点数を設け、当該項目の得点とする。

評価	配点が5点の場合の点数	配点が10点の場合の点数	配点が15点の場合の点数
大変優れている	5	10	15
優れている	4	8	12
普通	3	6	9
劣る	2	4	6
大変劣る	1	2	3

※当該項目の記載がない場合は0点とする。

4 注意事項

①委員への接触は、直接、間接を問わず禁じているので、万が一、接触があった場合には事務局に連絡するものとする。

②提案書審査及びヒアリングにおいて、提案者の提案作成技術又は説明技術等によらず、提案内容の優劣について評価するものとする。

5 受託候補者の選定について

委員の採点により、以下の条件に従い順次選定する。

ただし、全委員の平均得点が90点に満たない場合は要求水準を満たしていないとして、受託候補者として選定しない。

- ① 過半数を超える委員から最高順位を得た者
- ② ①により決しない場合、全委員の合計得点が最高得点の者
- ③ ②が複数いる場合、企画提案項目の評価点の合計が最も高い者
- ④ ③が複数いる場合、提案金額の最も安価な者

別表

評価基準【①技術資料】

評価項目		評価基準		配点	
企業の業務実績	同種業務の実績		都市計画マスタープランの策定業務の実績について、以下で評価する。 A：実績が5例以上ある B：実績が1例以上ある C：類似業務の実績がある	5	
予定技術者の技術力と業務実務能力	管理技術者	資格要件	技術者の資格取得について、以下で評価する。 A：技術士（都市及び地方計画）を有する B：RCCM（上記部門に該当するもの）を有する	5	
		専門技術力	都市計画部門 従事期間	都市計画部門の従事期間について、以下で評価する。 A：従事期間が10年以上 B：従事期間が5年以上 C：従事期間が1年以上	5
		専門技術力	同種又は類似 業務の実績	同種又は類似業務実績について、以下で評価する。 A：同種の業務実績が2例以上ある B：同種の業務実績が1例以上ある C：類似の業務実績がある	5
		専任性	手持ち業務量	手持ち業務の状況を、契約金額500万円以上の手持ち業務件数を以下で評価する。 A：1件以下 B：3件以下 C：3件を超える	5
	主たる担当技術者	資格要件	技術者の資格取得について、以下で評価する A：技術士（都市及び地方計画）を有する B：RCCM（上記部門に該当するもの）を有する	5	
		専門技術力	都市計画部門 従事期間	都市計画部門の従事期間について、以下で評価する。 A：従事期間が10年以上 B：従事期間が5年以上 C：従事期間が1年以上	5
		専門技術力	同種又は類似 業務の実績	同種又は類似業務実績について、以下で評価する。 A：同種の業務実績が2例以上ある B：同種の業務実績が1例以上ある C：類似の業務実績がある	5

		専任性	手持ち業務量	手持ち業務の状況を、契約金額500万円以上の手持ち業務件数を以下で評価する。 A：1件以下 B：3件以下 C：3件を超える	5
見積額提示	見積金額の妥当性			配点×(1-見積額/限度額)	5
配点小計①					50

評価基準【②企画提案】

評価項目		評価基準	配点	
実施方針・実施フロー・工程計画	業務内容の理解度	会津若松市の現況への習熟度があり、当該業務の目的、条件、内容の理解度が高いか。	10	
	実施方針の的確性	課題認識が適切であり、課題に対する取組方針や実施方針が妥当であるか。	10	
	実施フロー、工程計画の的確性	作業スケジュールや策定プロセスなどの工程計画が的確であり、確実な業務の遂行が見込まれるか。	5	
評価テーマに対する企画提案	テーマ① 中心市街地におけるまちづくりの方向性	的確性	会津若松市の地域特性を的確に踏まえ、優れた提案となっているか。	15
		実現性	提案内容に説得力があり、また実効性、実現性のある提案となっているか。	10
	テーマ② 市街化調整区域における土地利用のあり方	的確性	会津若松市の地域特性を的確に踏まえ、優れた提案となっているか。	15
		実現性	提案内容に説得力があり、また実効性、実現性のある提案となっているか。	10
	テーマ③ 災害リスクを考慮した	的確性	会津若松市の地域特性を的確に踏まえ、優れた提案となっているか。	15

	まちづくり の方向性	実現性	提案内容に説得力があり、また実効性、実現性のある提案 となっているか。	10
配点小計②				100

配点合計 (①+②)				150
------------	--	--	--	-----